

平成29年7月16日  
今週のベストショット



青松園A レッドサンデーズ 対 ソルトベイスターズ戦

レッドサンデーズ先発の塚本投手の力投でソルトベイスターズ打線を五回まで無失点で抑え勝利に貢献。

写真：奈多フェニックス 実延 新伍

奈多グラウンド 先発投手の立ち上がり、そこからの流れは・・・

塩浜ジャガーズ（1勝6敗）00001 1 荒木●、内田、石内ー竹尾

新町ウインズ（6勝2敗）32114 11 藤田○ー吉浦

HR：桐島、泉（太）（新町ウ） 2BH：泉（太）、今林、宮原（新町ウ）

盗塁：泉（太）、吉浦、永淵、今林（新町ウ）

新町ウインズ先発の藤田投手は、初回の塩浜ジャガーズ打線を三者凡退に抑え、順調な立ち上がり。一方ジャガーズ先発の荒木投手は、先頭打者の泉（太）選手にセンター前へ運ばれ、盗塁・ワイルドピッチでいきなり無死三塁のピンチを迎える。次の打者は抑えるものの、三番吉浦選手にレフト前へ運ばれ、落ち着く間もなく先制点を与えてしまう。さらに五番桐島選手にセンターオーバーの本塁打を浴び、初回3失点の立ち上がり。その後もウインズ打線の勢いは止まらず、二回に2点、三回に1点、四回には交代したジャガーズ内田投手から一番泉（太）選手が左中間に本塁打を放ち、着実に得点を重ねていく。嫌な流れを変えたいジャガーズ。ウインズ藤田投手の速球を打ち崩せず、無得点が続いてしまうが、五回に四球から相手のエラーとヒットで二死ながらランナー三塁のチャンスが訪れる。ここで二番今林選手がレフト前ヒットを放ち、一矢を報いる。しかしその裏、代打宮原選手の左中間安打でとどめを刺され、五回コールドで試合終了。この試合、両投手の立ち上がりの差が、その後の試合展開を決めてしまう結果となった。そこから得た流れをウインズが最後までジャガーズに渡さず、常に試合を優位に進めていた。（記事・写真：三苦フレンズ 御手洗 文男）





ウインズ先発の藤田投手。



ジャガーズ先発の荒木投手。



初回2ランを放った桐島選手を迎えるベンチ。



三回表、バントで送る福田選手。



この日2安打の吉浦捕手、肩も強いです。



左中間HRを含むこの日3安打と大活躍の泉太一選手。



五回裏、一矢を報いるタイムリーの今林秀明選手。



コールド決定となるとどめ一打を放った宮原選手。



## 青松園A 八島選手の先制ホームランでレッドが接戦を制す！！

レッドサンデーズ (4勝3敗) 200100 3 塚本○、古賀一荒口

ソルトベスターズ (6敗1分) 000001 1 小山●、黒崎一大門

HR: 八島 (レッド) 盗塁: 壱岐、川原、土田 (レッド) 田中 (ソルト)

先制シーンは初回のレッドサンデーズ。一番の川原選手が内野安打で出塁するとパスボールの間に進塁し無死二塁。このチャンスで今日二番に入る八島選手が左越えの豪快なホームランを放ち幸先よく2点を先制。三番神田選手も内野安打で出塁するがソルトの小山投手が後続を打ち取り追加点は許さない。小山投手はこの後も二回、三回と危なげなく無失点に抑えた。対するレッドの塚本投手も初回からテンポが良く、四回まで被安打3本とさすがの投球内容。ややこう着状態にあったが四回表にレッドが待望の追加点を奪い取る。先頭の塚本選手が中前打で出塁すると、土田選手の進塁打、相手の失策などが絡み一死二三塁の場面で七番荒口選手が右方向へきっちり犠飛を放った。3-0となり反撃したいソルトはその裏、一死から森選手の代打に石井選手を送り、石井選手は中前打で見事期待に応える。ここから一番八柄選手の内野安打、三番中村(健)選手の左前打で二死満塁とし、四番の酒井選手のバッドにチームの期待がかかるがここは塚本投手に軍配があがり得点することが出来なかった。ソルトは続く最終回に代わった古賀投手から意地で1点を返したが、試合は3-1でレッドが接戦を制した。厳しい暑さの中、両先発の体力が一つのポイントとなると思われたがレッド塚本、ソルト小山両投手が実に素晴らしい投球を見せた。試合を決めたのは紛れもなく初回の八島選手のHRだが、その前のパスボールがなければ八島選手は犠打だったかもしれないことを思うと一つでも先の塁に進む姿勢、また進ませない姿勢の大事さを改めて感じた試合だった。(記事・写真: 奈多フェニックス 寛延 新伍)



レッドサンデーズ先発の塚本投手。



ソルトベスターズ先発の小山投手。



初回に先制2ランを放ったレッド八島選手。



揺さぶりをかけるソルト中村健一選手。





ソルト四番の酒井選手にあと一本が欲しかった。



四回表、貴重な追加点となる犠飛を放つ荒口選手。



五回裏、代打で中前打を放つソルト石井選手。



最終六回裏、リリーのレッド古賀投手。

### 青松園B 毎回得点の奈多クラブに軍配！

ブルーマーリンズ (7敗) 2 0 0 0 0 2 今林 (瑠) ○—安河内  
 奈多クラブ (7勝) 1 3 3 2 × 9 横山 (祥) ●—横山 (健)  
 HR : 今林 (瑠) (奈多ク) 3 BH : 安河内 (奈多ク)

一回表ブルーマーリンズは、死球の一番見玉選手を二番末松選手が投手前へ上手な送りバント。それを奈多クラブ今林 (瑠) 投手が一塁へ悪送球。ランナー二三塁とし四番糸井選手がライト前へ2点タイムリーヒットを打ち先制する。その裏奈多クラブは、制球の定まらない横山 (祥) 投手を攻めて死球で満塁とし、五番馬場口選手のショートゴロの間に1点を返す。ブルーマーリンズは、二回以降奈多クラブの今林 (瑠) 投手に五回まで八番谷山選手のセンター前1本に抑え込まれ無得点に抑えられる。一方奈多クラブは、二回裏に四球の久保選手とセンター前安打の今林 (祐) 選手を塁に置いて三番今林 (瑠) のレフト線を抜ける本塁打で3点を奪い逆転する。その後三・四回と奈多クラブは追加点を取り試合を決めた。(記事・写真 : 奈多サンデーズ 田中 俊弘)



奈多クラブ先発の今林瑠生投手。



ブルーマーリンズ二番末松選手の送りバント。





ゴロを裁くブルーマーリンズ児玉遊撃手。



送りバントを決める浜崎選手。



ゴロを裁くブルーマーリンズ友重選手。



二回裏、3点本塁打を放った奈多クラブ今林瑠生選手。



三回裏、センター前安打の奈多クラブ今林祐将選手。



三回裏、ホームでタッチアウト奈多クラブ今林賢人選手。



四回裏から登板のブルーマーリンズ児玉投手。



## 雁レク軟式9 川原、矢野（義）両投手による完封リレー！

三苫ホーネッツ（6勝1敗）0020001 3 川原○、矢野（義）一広木

三苫三球会 （3勝4敗）0000000 0 吉留●一藤澤

HR：山崎（三苫ホ）

一、二回ともに両軍無得点であったが三回表、ホーネッツは無死から失策で走者を出すと四球、内野安打と続き無死満塁の好機で三番稲葉選手の内野安打で先制。続いて一死二三塁で四番広木選手の右翼への犠飛で2点目。一方、2点差と手の届く範囲なだけに反撃をしたい三球会だったが、ホーネッツ先発の川原投手の前に1四球はあったものの三回まで無安打無得点に封じられる。三球会は四回から代わった矢野（義）投手から二番上村選手が今試合初安打を放つも、あとが続かず得点が挙げられない。するとホーネッツは七回表、途中出場の九番山崎選手の右翼線への本塁打で1点を追加しこの日のホーネッツ投手陣にとっては十分すぎる追加点となった。あとはホーネッツ二番手矢野（義）投手がきっちり締めて試合終了。敗れた三球会は先発吉留投手がホーネッツ打線を3失点に抑える好投を果たすも、打線の援護に恵まれなかった。（記事、写真 雁の巣ライナース 明瀬 旭）



三球会先発の吉留投手。



ホーネッツ先発の川原投手。



一回表、ホーネッツ初安打三番稲葉選手。



二回裏、盗塁を阻止で好機を与えないホーネッツ。



三回表、好機を拓げる内野安打。ホーネッツ二番井手涼次朗選手。



三回表、先制の内野安打。ホーネッツ三番稲葉選手。





ホーネット投手陣をなかなか捉えられない三球会打線。



七回表、追加点となるソロHRを放つ途中出場の山崎選手。

### 第13週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第13週7月16日は4試合が行われました。

奈多グラウンドの塩浜ジャガーズ対新町ウインズ戦は、初回から桐島選手のHRなどで3点を先制したウインズは攻撃の手を緩めることなく、毎回得点の計11点。三回以降ランナーをスコアリングポジションに出すも1点に抑えられたジャガーズ。コールドでウインズの勝利。

青松園Aのレッドサンデーズ対ソルトベイスターズ戦は、レッド10人、ソルト13人とソルトは初の相手チームより多い人数で挑む。レッドは普段一番を打つ古賀選手が九番を打ち、打順が一つずつ繰り上がる。これが功を奏したか初回から八島選手の2ランを含む3連打で2点を先制すると、普段リリーフ登板の先発塚本投手がランナーを出しながらも要所を抑え、3-0で古賀選手にバトンタッチ。1点を取られるも初回のリードを保ってレッドが3-1で勝利。皆さん、チームに迷惑を掛けないようにしっかり起きましょう。

青松園Bのブルーマーリンズ対奈多クラブ戦は、ここまで0勝のブルーマーリンズが初回四番糸井選手の2点タイムリーで先制。しかしここまで全勝の奈多クラブは二回に同点に追いつくと、初回の名誉挽回とばかりに今林瑠生選手がHRを放ち逆転するとコンスタントに得点を重ね2-9で奈多クラブの勝利。この暑さで投手がバテても打力で攻撃時間を稼ぐのも強さの証明か。

雁レク9の三苦ホーネット対三苦三球会戦は、強打を誇るホーネット打線の六回まで全て内野安打のみの5安打に抑えていた三球会吉留投手だったが三回に2失点すると、最終七回表に山崎選手にソロHRを打たれ3失点。四回以降ランナーをスコアリングポジションに送る三球会だったが、ホーネット川原、矢野投手リレーに完封され、3-0でホーネットが1敗を守った。

梅雨明けして夏本番を迎えた。熱帯夜も続きますが、しっかり体調を整えて試合に臨みましょう。

ここまで雨による試合中止も少なく、今年はいい感じで試合消化できていますね。

9月の運営会議後は、恒例の「Go! Do! 飲み会」です。